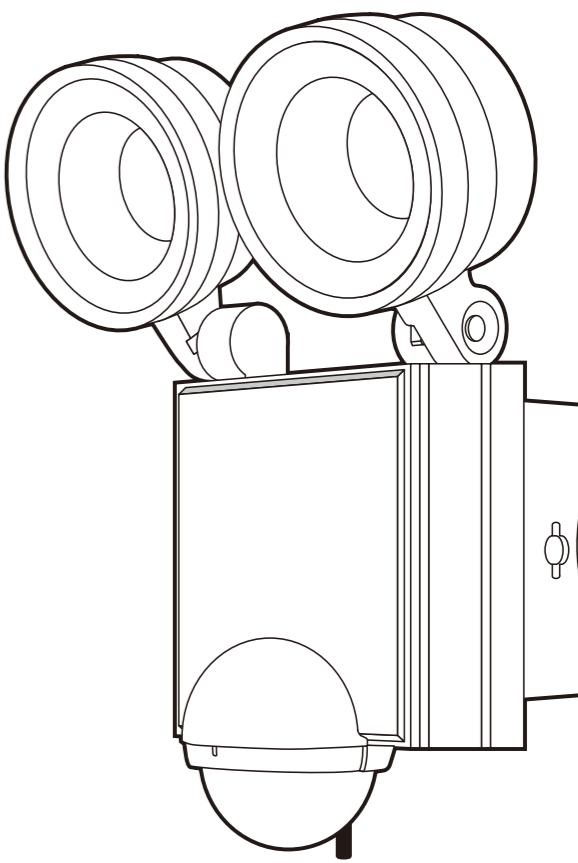
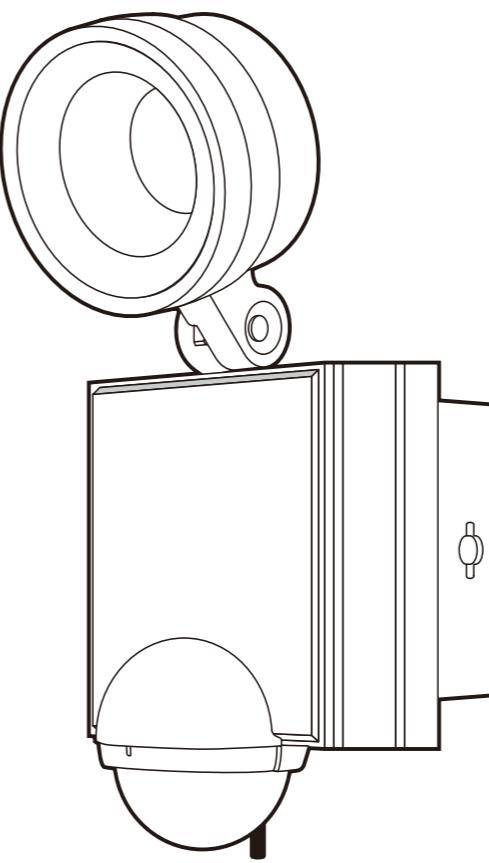
7 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない（センサーが反応しない）	電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続およびコンセントの電源供給(ブレーカー)の確認。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知エリアに対して、検知対象（人など）が横切るような場所へ取付ける。またはセンサーの角度を変更する。
	周囲が明るい。 （夜でも周囲に他の照明器具がある）	点灯開始照度を「昼」側に調整する。
		他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。	設置場所や検知エリア等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	夏場など周囲の温度と人体の温度差がすくない。	
	非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。	
	検知エリアが遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。 また、マスキングカバーをご使用の際は、ズレや外れがないか取付状況を確認する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本品は約2.5mの高さに垂直に設置してください。
ライトが点灯したまま消えない（センサーが反応し続ける）	電源投入直後のウォームアップ時間中 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約45秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知エリアの外に出る。
		検知エリアを狭い範囲に調整する。
		取付場所を変更する。
人がいないのに点灯する	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある （例） 他の照明器具の明かり、風で揺れるもの（植木、洗濯物、旗など）、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。
	検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している	検知エリアを狭い範囲に調整する。
		取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、センサーライトを取付けている柱などが振動している	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の設定ボリュームが「昼」になっている	点灯開始照度の設定を「夜」側に調整する。
ライトが点滅する（点いたり消えたりを繰り返す）	本機の発光方向に光を反射する障害物がある ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
ライトが点いてもすぐ消える	点灯保持時間が「5秒」に設定されている	点灯保持時間を「10分」側に調整する。
	本機の発光方向に光を反射する障害物がある ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
チャイムが鳴らない	チャイム受信器に送信器の登録がされていない	登録設定をする。
	障害物などで電波が遮られている	設置場所を変更する。
		障害物を取り除く。

取扱説明書
保証書付

家庭用AC100V電源 LEDセンサーライト

品　番
ESL-601AC
ESL-602AC
ESL-602ACST

お客様へのお願い

■この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」等の記入を必ずお確かめください。

本品は強盗、盗難、空巣などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

⚠ 警 告

- ●取付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- ●点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
  また、人が容易に手を触れる事が出来る2m以下の場所には設置しないでください。
- ●燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。昼でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- ●布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- ●交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因となります。
- ●屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- ●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、ステップルなどで挟み込んだりするとコードが破損する場合がありますのでご注意ください。
- ●電源プラグの抜き差しは、コードを持たずに必ず先端プラグ部を持って抜き差ししてください。電源プラグが破損し、断線やショート、感電、火災、故障の原因となります。
- ●感電の恐れがありますので、濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。
- ●電源プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと感電や発熱による火災の原因となります。また、傷んだプラグや緩んだコンセント等は使用しないでください。
- ●電源プラグを差し込んだままにすると、たまったホコリにより火災に至るおそれがあります。定期的にプラグを抜いて、乾いた布でホコリを取り除いてください。また長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。
- ●異常を感じた時は速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、異臭がしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります、速やかに販売店もしくは当社まで修理をご依頼ください。
- ●本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、**大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。**
  ※防雨構造はIPX4電気機械器具の保護等級に適合します。
- ●正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
- ●視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- ●改造、分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

⚠ 注意

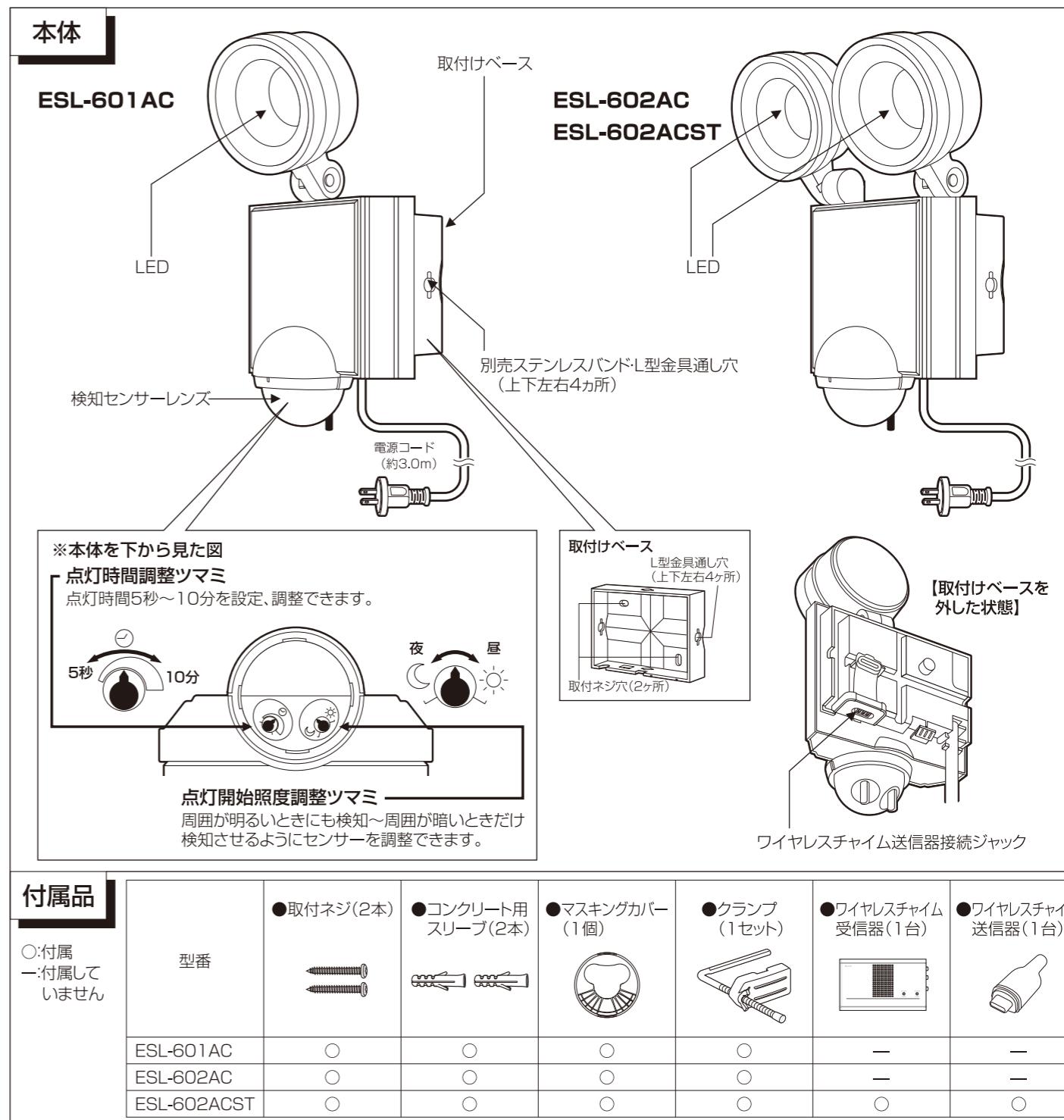
- ●温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取付けないでください。
- ●本機をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- ●不安定な場所に取付けないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

2 各部の名称と付属品

本体

付属品

○:付属
ー:付属していません

型番	●取付ネジ(2本)	●コンクリート用スリーブ(2本)	●マスキングカバー(1個)	●クランプ(1セット)	●ワイヤレスチャイム受信器(1台)	●ワイヤレスチャイム送信器(1台)
ESL-601AC	○	○	○	○	―	―
ESL-602AC	○	○	○	○	―	―
ESL-602ACST	○	○	○	○	○	○

3 まず初めに

本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

①
点灯時間調整を「5秒」に、点灯開始照度を「昼」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。
ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約45秒間ランプが点灯します。この間ランプは点灯したままになりますので、検知エリア外に離れてお待ちください。

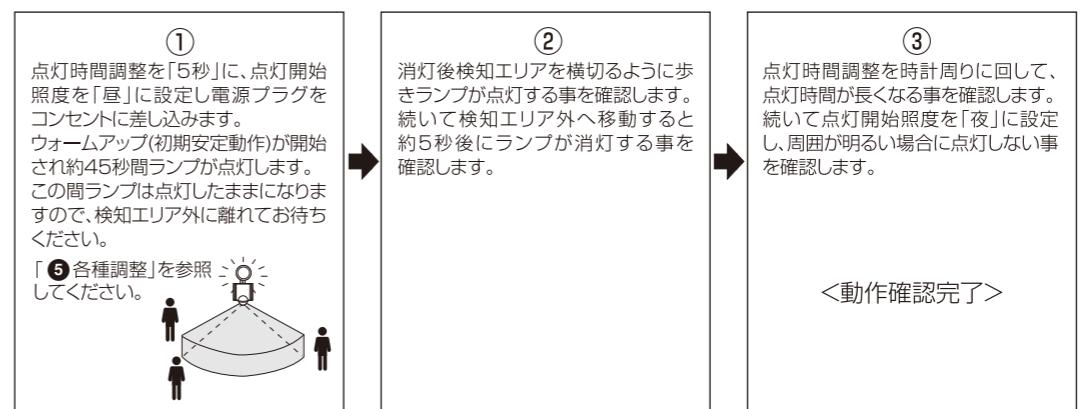
「❺各種調整」を参照してください。

➡

②
消灯後検知エリアを横切るように歩きランプが点灯する事を確認します。続いて検知エリア外へ移動すると約5秒後にランプが消灯する事を確認します。

➡

③
点灯時間調整を時計周りに回して、点灯時間が長くなる事を確認します。続いて点灯開始照度を「夜」に設定し、周囲が明るい場合に点灯しない事を確認します。

<動作確認完了>

ウォームアップ(初期安定動作)について!

電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度の設定に関わらず、約45秒間ランプが点灯します。これはセンサーが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

4 設置方法

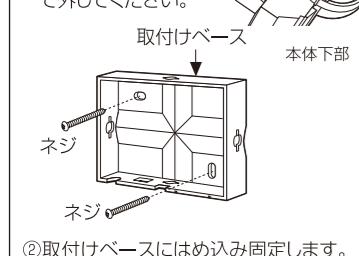
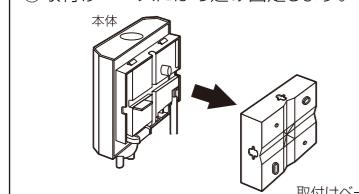
取付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。
下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。

センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

本体の取付方法　⚠万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

ネジでの取付け

①本体から取付けベースを外します。
※右図のようにマイナスドライバー等を差し込んで外してください。

②取付けベースにはめ込み固定します。

取付けベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。

コンクリート壁への取付け

①あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、ネジ止めしてください。

②取付けベースにはめ込み固定します。

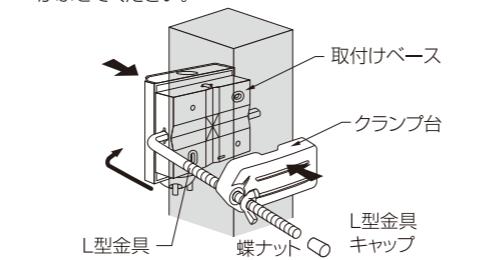
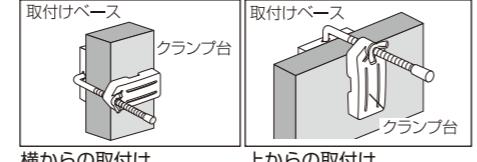
クランプでの取付け

最小約10mmから最大約100mm幅まで取付け可能

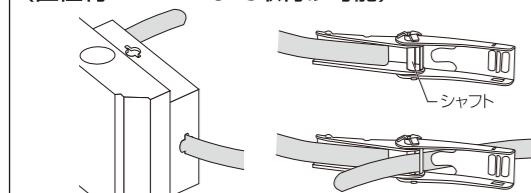
①取付けベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。

■クランプによる取付け例

横からの取付け

上からの取付け

別売ステンレスバンドによる取付け
（弊社型番ESL-SB）

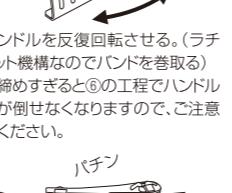
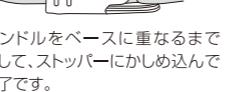
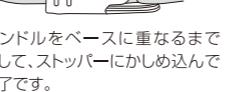
（直径約260mmまで取付け可能）

⚠ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

①取付けベースのステンレスバンド通し穴（上下または左右の2箇所）にステンレスバンドを通します。

②バンドを取付箇所（ポールなど）に巻付け、先端をシャフトの間（シャフトは2枚構成）に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

③バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。

④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。ベルト端末は外に出せません。

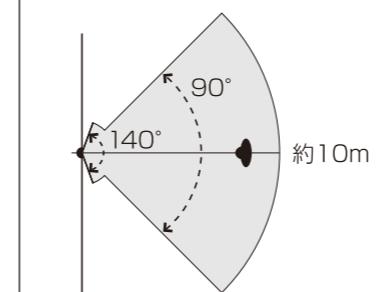
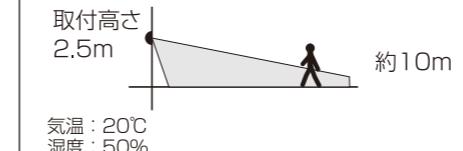
※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。

⑤ハンドルを反復回転させる。（ラチェット機構なのでバンドを巻取る）
※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。

⑥ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

5 各種調整

検知エリアについて

検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の設置状態などにより大きく変化します。

【平面図】　検知エリアを上から見た図

【側面図】　検知エリアを横から見た図

気温：20℃
湿度：50%

※センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源（動物・車など）も検知します。
※検知エリアの外側でも人より大きな熱源（車など）が移動した場合は検知する事があります。
※センサーに向かって正面方向から接近した場合、検知距離が極端に短くなります。
※検知エリアにゆっくり侵入した場合、検知しなかったり、検知距離が短くなります。
※夏場など人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。
※冬場にマフラー、ニット帽などで完全防寒すると肌の露出が少なく、衣服の表面と外気温の温度差が少なくなり検知しにくくなります。

センサーレンズの検知方向の調節

左右各90°
※故障の原因となりますので90°以上回さないでください。

マスキングカバーの使用方法（検知エリアの調節）

センサーの検知エリアを狭くしたい場合は、付属のマスキングカバーで調節してください。
マスキングカバーを取付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。

<例1>検知距離を短くする

<例2>検知角度を狭くする

■装着方法　※マスキングカバーは必ず検知範囲を切り取ってご使用ください。

①レンズとマスキングカバーのそれぞれのツメが干渉しないように、マスキングカバーを少しずらして装着します。
②マスキングカバーを回転させ、中央にスライドさせます。

点灯保持時間の設定

センサーが検知しなくなってから消灯するまでの時間を設定できます。

点灯時間:約5秒～10分の間で設定できます。

※おおよその設定です。細かい設定はできません。
※センサーの検知エリア内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し、点灯時間は延長されます。
※出荷時は約5秒に設定されています。

点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。

[夜]周囲が暗くなってから点灯します。
　　昼間などの明るい時間は点灯しません。
[昼]周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。

※点灯開始照度変更後20秒間は検知エリア外に離れてお待ちください。
※出荷時は[昼]に設定されています。

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射角度を調整してください。

※故障の原因となりますので上記角度以上に回さないでください。

仕様

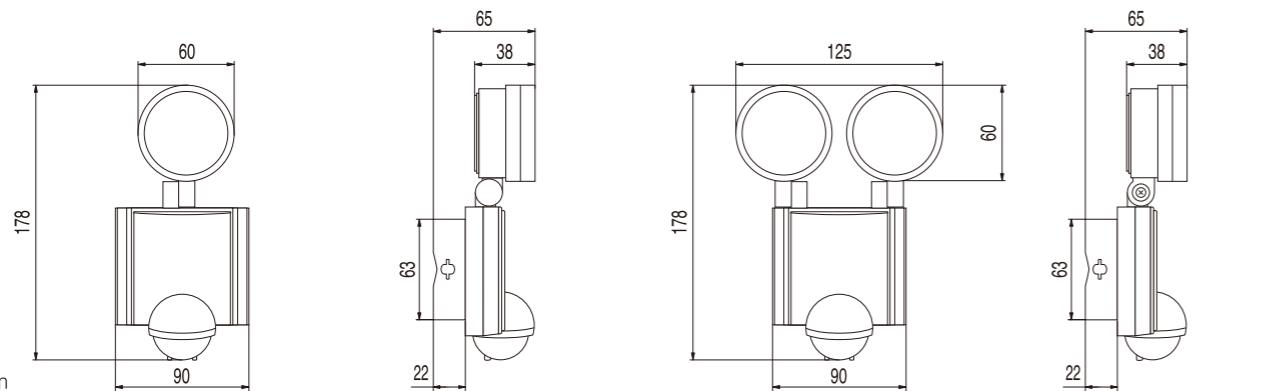
品番	ESL-601AC	ESL-602AC	ESL-602ACST
検知方式	赤外線受動式		
電源電圧	AC100V 50/60Hz		
消費電力	約6.5W（待機時 約0.1W）	約12.5W（待機時 約0.2W）	約12.5W（待機時 約0.2W）
使用周囲温度範囲	−20℃〜40℃		
点灯保持時間	約5秒〜約10分間		
点灯開始照度	約5lx(夜)〜(昼)		
耐水性能	IPX4（防沫型）／直接雨のかかる屋外で使用可能		
電源コード長	約3.0m		
光源	白色 6W LED×1灯（全光束 約320ルーメン）	白色 6W LED×2灯（全光束 約640ルーメン）	白色 6W LED×2灯（全光束 約640ルーメン）
質量(電源コード含)	約430g	約500g	約500g
付属品	取付ネジ2本 コンクリート用スリーブ2本 マスキングカバー1個 クランプセット1台	取付ネジ2本 コンクリート用スリーブ2本 マスキングカバー1個 クランプセット1台	取付ネジ2本 コンクリート用スリーブ2本 マスキングカバー1個 クランプセット1台 チャイム送信器1台 チャイム受信器1台

ワイヤレスチャイム（※ESL-602ACSTのみ付属）

電源	[受信器]単三形アルカリ乾電池×3本(別売)	音量	約70dB/50cm
電池寿命	約1年(1日10回使用) ※電池寿命は電池の性能、使用状況により大幅に変わる場合があります。	IDコード	25万通り以上
周波数	313.625MHz(特定小電力機器)	電波到達距離	見通し約50m
使用温度範囲	0℃〜40℃	耐水性能	[受信器]屋内専用
寸法・質量	[受信器]約137(幅)×81(高さ)×40(奥行)mm / 約124g	[送信器] 約22(幅)×58(高さ)×14(奥行)mm / 約7g	

※LEDの交換はできません。
※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。
※万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
※仕様及び外観・外装は予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

外形寸法図

AI 1401 A

6 ワイヤレスチャイム連動機能

センサーが人などを検知するとチャイムでお知らせします。
※センサーライトの点灯に関わらず、センサー検知があると動作します。

※ワイヤレスチャイム「送受信器セットESL-EWS10」はESL-602ACSTのみに付属しております。

ワイヤレスチャイム送信器を追加、増設の際は下記の弊社型番商品をお買い求めください。

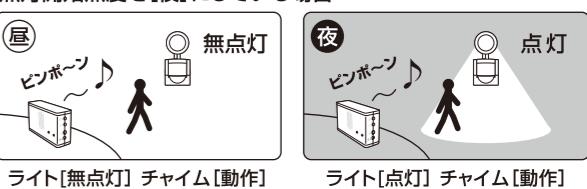
A「(受信器)EWS-10」、「(送信器)ESL-EWS01」または、「(送受信器セット)ESL-EWS10」
B「(ランプ付受信器)EWS-20」、「(送信器)ESL-EWS01」

※「(受信器)EWS-10」、「(ランプ付受信器)EWS-20」をお持ちの方は「(送信器)ESL-EWS01」のみお買い求めください。

Bをご利用の場合は、以降「(ランプ付受信器)EWS-20」、「(送信器)ESL-EWS01」の取扱説明書と合わせてご確認ください。

点灯開始照度を[夜]にしている場合

ライト[無点灯] チャイム[動作]

ライト[点灯] チャイム[動作]

送信器の接続

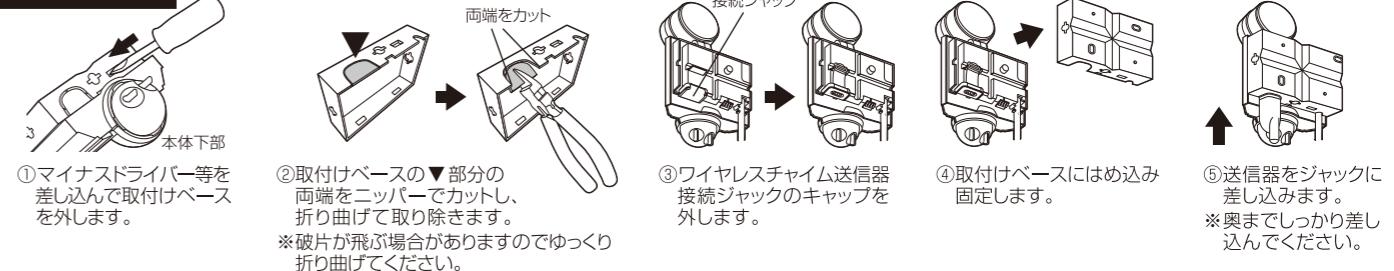
※作業用手袋の着用をおすすめします。

①マイナスドライバー等を差し込んで取付けベースを外します。

②取付けベースの▼部分の両端をニッパーでカットし、折り曲げて取り除きます。
※破片が飛ぶ場合がありますのでゆっくり折り曲げてください。

③ワイヤレスチャイム送信器接続ジャックのキャップを外します。

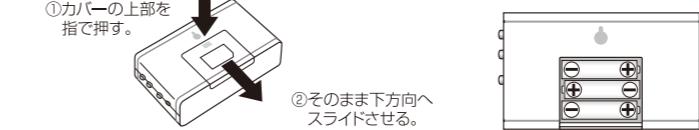
④取付けベースにはめ込み固定します。

⑤送信器をジャックに差し込みます。
※奥までしっかり差し込んでください。

登録方法

■準備（電池の入れ方）
●電池交換の際も同様の手順でおこないます。

使用電池:単三形アルカリ乾電池×3本

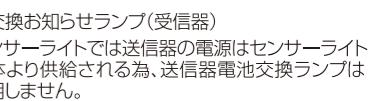
①受信器裏面にある電池カバーを取りはずします。

②単三形アルカリ乾電池3本を電池の極性を確認してセットし、電池カバーを元通りに閉じます。

※初めて電池を入れたときは「ピッピッピッ」という確認音が鳴ります。

●ACアダプター（別売）について

当社商品
「AC-DCマルチアダプター4.5V ACD-045」
が使用できます。
·適合プラグ 外径 φ5.5mm、内径 φ2.1mm
·極性 センタープラス ⊖-⊙-⊕
(注意)ACアダプター使用時は、必ず乾電池を取りはずしてください。
※指定以外のアダプターは使用しないでください。故障の原因となります。

電池交換表示について

●受信器の電池交換お知らせランプが点灯し、受信器の電池切れが近い事をお知らせします。
●電池交換表示が出た場合は、お早めに指定の新しい電池と交換してください。
新しい電池と交換するとランプが消えます。

電池交換お知らせランプ(受信器)
※センサーライトでは送信器の電源はセンサーライト本体より供給される為、送信器電池交換ランプは使用しません。

■登録方法

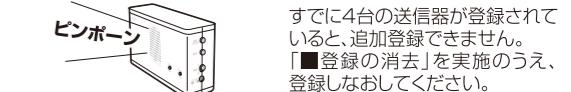
●受信器に送信器を登録しないと使用できません。
●登録は送信器から1m〜2mの距離でおこなってください。
●受信器1台に対して送信器は4台まで登録できます。
●送信器には個々に異なるIDコード(識別符号)が与えられているため、ご近所で同じ製品を使用されても混信する事はありません。
●受信器の電池を交換しても登録した内容は消えません。電源にACアダプターをご使用されている場合も、一旦ACアダプターを取りはずしても登録した内容は消えません。
※登録した内容を消す場合は「■登録の消去」を参照してください。

①受信器の電源スイッチが「入」の位置になっている事を確認します。
※使用開始時（送信器が1台も登録されていない状態）は、電源が入ると自動的に【設定モード】になります。

電源スイッチ

②送信器を動作させます。

③受信器から報知音が鳴ります。報知音が鳴らない場合は、報知音が鳴るまで何回かお試しください。

すでに4台の送信器が登録されていると、追加登録できません。「■登録の消去」を実施のうえ、登録しなおしてください。

④受信器の音量ボタンを押します。音量ボタンを押すごとに音色が次々に切り替わりますので、お好みの音色を選択してください。最後に鳴らした音色が報知音として設定されます。

8種類の報知音（音色）	
○ピンポン×1	○ピンポン×2
○アニーローリー	○大きな古時計
○ノック音	○ピッピッピッ…
○アラーム音	○犬の吠える声

⑤受信器の設定ボタンを約3秒間押し続けます。
→「ピッ」という音が鳴り【設定モード】が終了します（登録完了）。
※④の報知音選択から約2分間経過した場合も自動的に【設定モード】が終了します。

⑥設定完了後、または通常待機時に音量ボタンを押すと音量を変更することができます。

■送信器を追加登録

·受信器1台に対して送信器は4台まで登録できます。

①受信器の設定ボタンを約3秒間押し続けます。
→「ピッピッピッ」と音が鳴り【設定モード】になります。

②「■登録方法」の②以降を操作してください。

すでに4台の送信器が登録されていると、追加登録できません。「■登録の消去」を実施のうえ、登録しなおしてください。

■登録の消去

·複数の送信器が登録されている場合、1台づつ個別に登録を消去することはできません。全ての登録が消去されます。

①受信器の音量ボタンと設定ボタンを同時に約3秒間押し続けます。
→「ピッピッピッ」と音が鳴り、登録された内容が消去されます。
消去された後は、自動的に【設定モード】になります。

②「■登録方法」の②以降を操作し、あらためて送信器を登録してください。

※電波到達距離は見通しで約50mです。下記のような使用環境では電波の到達距離が極端に短くなります。
·電波を遮る障害物(金属性のドア、鉄筋コンクリート、金網入り石膏ボード、ワイヤー入りガラス、アルミ箔を貼り付けた断熱材など)がある場合
·電波やノイズを発する機器の近く(テレビやラジオの送信所、無線局、携帯電話、家電製品、OA機器など)
※センサーライト(送信器)とチャイム受信器の距離が近すぎる(1m未満)場合や、2台以上の機器が近接している場合、電波の相互干渉により音が鳴らない場合があります。このような場合は、各機器を離して設置してください。
※報知音が鳴っている間は電波を受信できません。
※送信器は総務省の技術基準に適合しております。証明マーク㊜が貼られている商品は、総務大臣の許可無しに改造して使用する事はできません。改造した場合は法律により罰せられる事があります。